

清掃一組

副管理者に高際氏、高垣氏

監査委員人事は1件廃案

東京二十三区清掃一部事務組合(清掃一組)議会は6月、副管理者に高際みゆき豊島区長と高垣克好・前清掃一組総務部長を選任する人事案に同意した。また、監査委員の選任同意案3件も議題となったが、このうち1件が審議未了で廃案となった。清掃一組議会では今後、全員協議会で改めて同議案について協議する方向。

新たに副管理者に選任した高際氏は、前川輝男練馬区長の後任。高垣氏は、深井祐子副管理者の後任となる。事務方(知識経験者)の副管理者の交代は6年ぶり。高垣氏は1988年に江東区に入区し、土木部計画担当課長や政策経営部参事などを経て、2020年に清掃一組中防処

理施設管理事務所長。23年の身分切り替え後、24年から総務部長を務めていた。

なお、管理者の古住健一新宿区長(区長会会長)は変わらない。

同議会ではまた、監査委員の人事案3件のうち、2件に同意した。新たに監査委員に就任するのは、清家愛港区長、多田太郎足立区議会議長の2人。副管理者・監査委員ともに任期は原則、2年間。

一方、今回の議会ではレギュラーだったのが、監査委員に板橋区元副区長の橋本正彦氏を再任する人事案だ。組合議会は選任同意案の採決を見送った。橋本氏は23年6月に監査委員に就任。清掃一組の代表監査委員も務め、今年6月26日で任期満了となっている。

継続審議であれば議事上、閉会中の審査のために総務事業委員会に付託することになるが、同議会ではこれをせず、審議

未了とした。議会事務局では現在、議案の取り扱っている最中だという。清掃一組議会事務局に

よると、本定例会は同議会議員の改選時期に当たり、議員の1人から「(議長は多くが)代わったばかりで、橋本氏の適切な情報と判断材料が整っていない」として継続的な扱いにする旨の動議が出されたという。

清掃一組議会は、特別区議会の23人の議長で構成される。

一組議会議員の1人によくと、昨年度の監査結果報告を受け、全会一致

で推すことができなかったという。ただ、議案の取り扱いについては3日時点で、議員によって継続審議か審議未了かで認識が異なっていた。